

踏み出そう新たなステージへみんなの力が新渡戸の未来

7月号

令和4年7月1日号



新渡戸記念 中野総合病院 だより

Nitobe Memorial Nakano General Hospital

東京医療

住所 〒164-8607 東京都中野区中央四丁目59番16号

電話 03-3382-1231 (代) 夜間受付 03-3382-9991

ホームページ <http://www.nakanosogo.or.jp> メール syougai@nakanosogo.or.jp

第397号

発行人/理事長 入江 徹也

発行責任者/渉外・広報課長 仲田 智

新渡戸記念中野総合病院 整形外科部長就任にあたって

整形外科 部長 結城 新

はじめまして、新渡戸記念中野総合病院整形外科の結城 新と申します。

この度、10年以上の長きにわたり当院整形外科を引っ張ってこられた北濱 純前部長の後任のお話をいただき、2022年4月より赴任させていただきました。

まず、簡単に自己紹介をさせていただきます。私は2004年に医師免許取得後、2年間の初期研修を終え、2006年より東京医科歯科大学整形外科教室の一員として、大学を含め関東一円にある関連病院で臨床・研究を行ってまいりました。

私の専門はスポーツ外傷、膝・足関節疾患の治療で、それらに対して適切な診断をし、手術を含めた治療、予防を含めたりハビリを施すことに取り組んでまいりました。

また、これまでスポーツ現場での仕事も行っており、Jリーグ・社会人サッカーチーム、サッカー日本代表チーム、大学サッカー部・アメリカンフットボール部などのチームドクターを務め、アスリートの怪我の治療・予防、体調管理などに携わってきました。

そのような経験をもとに、今後はこの地域に根ざして、子どもからお年寄りまで、スポーツによる外傷・障害、また膝・足関節の不調でお困りの方の診療をさせていただければと思っております。

当院の整形外科としましては、これまでと変わらず常勤医6名体制で、骨折外傷、スポーツ外傷・障害、四肢関節外科の手術などを中心とした運動器疾患の

治療を中心に行っております。

外来では、さらに非常勤医師8名が加わり、月曜から土曜まで午前・午後共に開けており(土曜は午前のみ)、整形外科の中でも手の外科、股関節、肩・膝・足関節、脊椎など各専門分野を持った医師の診療を受けることもでき、また救急車や、近隣の病院・クリニックの先生方からの急ぎの診療依頼にも対応できるような体制にしております。

また、当院は内科・外科含め20を超える診療科があり、患者さんの状態によっては整形外科以外の診療科とも密に連携して治療を行っていきます。

当院整形外科はこれからも、新渡戸 稲造博士の精神(誠実で思いやりのある心)を基に、患者さんが自立した生活を送れるよう運動器疾患の治療に取り組んで参りますので、お困りの方がおられましたら、ご相談いただければ幸いです。今後とも何卒よろしく願いいたします。





東京医療生活協同組合創立90周年記念式典

東京医療生活協同組合は2022(令和4)年5月27日に創立90周年を迎えました。創立記念日当日の5月27日、2号館3階会議室において、病院長・副院長・事務局長・看護部長の病院幹部出席のもと記念式典が開催されました。式典に出席した全職員が当生協創立当時に思いを馳せ、「新病院建設」に向けて新たな決意を誓い合いました。

記念式典では昨年新設された「新渡戸記念中野総合病院賞」の第2回表彰式も行われました。「新渡戸記念中野総合病院賞」は2021年度の実績を基に選定

され、手指消毒を励行し院内感染対策に貢献した職員7名、多くの入院患者を受け持って急性期医療に積極的に貢献した医師3名、救急車を数多く受入れ救急医療推進に貢献した医師4名が表彰されました。



中野クリニック 無料送迎バス拡充のお知らせ

中野クリニックは緊急時に新渡戸記念中野総合病院で治療を受けることが出来る万全のバックアップ体制を持つ人工透析施設です。

当クリニックはご自身で公共交通機関を利用して通院が難しい患者の皆様のために「無料送迎バス」を運行しています。7月1日より運行車両を1台から2台に拡充しました。送迎に関する詳細につきましては、中野クリニックのスタッフまでお問い合わせください。

●中野クリニック 電話 03-3383-3530



検査まめ知識

新型コロナウイルス感染症の抗原定性検査について③

鼻咽頭ぬぐい液と鼻腔ぬぐい液について

中央検査科 技師長 須藤 淳二

新型コロナウイルス感染症の検査には、鼻咽頭ぬぐい液と鼻腔ぬぐい液、唾液が用いられています。唾液でも抗原定性検査ができる検査キットが承認されましたが、抗原定性検査の多くは鼻咽頭ぬぐい液と鼻腔ぬぐい液で検査を行っております。鼻咽頭ぬぐい液の方が検出率が良いといわれていますが、鼻咽頭ぬぐい液は医療従事者により採取するので、自己採取することはありません。

自己採取する場合は鼻腔ぬぐい液となります。鼻腔

ぬぐい液の採取法は、「鼻孔(鼻の穴)から2cm程度スワブを顔の中心に向かって挿入し、下方に沿ってスワブを進め、鼻腔壁に軽く当てゆっくり5回程度回転させ、5秒程度静置して湿らせる。基本的には1本のスワブで、左右の鼻腔から採取する。」となっております。

正確な検査を行うには「適切な検体」で検査することが重要です。自己採取する場合は、医療従事者からの説明を理解したうえで、「適切な検体」を採取することが必要です。

参考文献:日本臨床検査医学会 Vol.70. No4 p.285. :一般社団法人日本臨床検査振興協議会、医療用(体外診断用医薬品)抗原定性キットとは?

病院からのお知らせ

医師退職のお知らせ

2022年7月11日をもちまして、外科 吉野内 聡 医師が退職となります。
8年11カ月の長い間、当院の外科診療を担いご尽力いただきました。
新しい職場での更なるご活躍をお祈り申し上げます。



2022年度の健診事業について

6月1日(水)から健診事業を開始致しました。新型コロナウイルス感染予防のため健診事業は電話による完全予約制となります。

現在、電話が大変混み合いご迷惑をおかけしておりますが、ご理解とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。健診事業に関する詳しい情報はHPでご確認ください。

電話予約は
健康管理課で
承っております

受付時間 月曜日～金曜日(祝日除く) 14時～15時30分

区民健診 03-3382-1254 (区民健診専用直通電話)

その他の健康診断 03-3382-1231 (代) (健康管理課とお申し込みください)

人気メニューのレシピをご紹介します!

栄養科 病院食通信 ⑧



【ポン酢豆腐】

今回はお粥食のメニューからポン酢豆腐を紹介いたします。シンプルな調理工程ですが、人参を花形にする、白菜でほうれん草を巻いたロールにする等の工夫を加えることで、見た目の華やかな一品に仕上げています。また、低脂質、高たんぱくで消化に良い白身魚と豆腐を加え、味付けはポン酢醤油となります。食欲のない時におすすめのメニューです。

材料 (1人前)

豆腐	100g
カジキマグロ	40g
出汁	20ml
白菜	30g
人参	20g
ほうれん草	10g
ポン酢	7g
醤油	7g
みりん	1g
かつお節出汁	
パック	1g

栄養成分表示(1食あたり)
エネルギー 162kcal / たんぱく質 16.9g / 脂質 8.8g / 炭水化物 5.8g (食物繊維 2.3g) / 食塩相当量 1.1g

調理方法

- ① ④の調味料を合わせておく。半日経過後に出汁パックを取り除く
- ② 白菜の葉を一枚の大きさのまま茹でる
- ③ ほうれん草は茹でて水分を切っておく
- ④ 人参は輪切りにして花型に型抜き後、やわらかくなるまで茹でる
- ⑤ まきすを使用し、茹でた白菜、ほうれん草を置いて巻きあげる。よく水気を切っておく(白菜とほうれん草のロール巻を作る)
- ⑥ ⑤を3cm幅の長さに切る
- ⑦ カジキマグロは酒をふり、蒸し器で15分程度蒸す
- ⑧ 鍋に豆腐と出汁を入れ、弱火で10分程度煮る
- ⑨ 仕上がった豆腐、カジキマグロ、白菜ロール、人参を盛り付け、①の調味料をかけて完成

ポイント

白菜ロールはしっかりと水気を切ることで型崩れを防ぎます。さらに、食材別で調理することで味や形が活かされ、きれいに仕上がります。

「がん哲学外来」のご案内

当生協「新渡戸稲造記念センター」の樋野 興夫センター長が全国に展開している「がん哲学外来」が当院でも開設されています。「がん哲学外来」は「がん」にまつわる様々な悩みを樋野興夫センター長との対話を通して解消する外来です。東京医療生活協同組合の組合員(ご家族)の方ならどなたでも無料で予約できます。

お電話で予約申し込みを受け付けています

電話 03-3382-1507
9時~16時30分(日曜、祝日を除く)

開催予定日 7/4(月)、7/11(月)、7/25(月)
1回約50分(1日4組まで)

ご意見をお寄せください

東京医療生活協同組合は、皆様のご意見を当生協の運営に活用させていただいております。皆様のご意見は右記宛先までお送りいただきますようお願いいたします。なお、ご意見をお送りいただきます際には、ご氏名に加えて必ず組合員番号(組合員証に第〇〇〇〇〇号と記載されています)をご記入いただきますようお願いいたします。

宛先

東京医療生活協同組合 渉外・広報課

住所 〒164-8607
中野区中央四丁目59番16号

メール syougai@nakanosogo.or.jp

FAX 03-3381-4799

新渡戸 の 言葉

「一滴の水にも天地の恩寵あり、一粒の米にも万人の力籠もり、我々は感謝して戴きます。」仏教系ボーイスカウトの頃、食前に唱えていた言葉です。穀倉地帯ウクライナでの戦争が4か月を過ぎ、明日の命も食糧もままならぬ状況のウクライナの人々に想いを馳せれば断腸の思いです。添えられた和歌は2首、

食に飽く身の幸ひを悦びて 飢に苦しむ人を憐れめ
今日もまた御飯に不足なきにつけ 野らに働く人をうやまへ

本邦初の農学博士(1899)でもある新渡戸 稲造博士は赴任先の台湾視察の際、上着を脱いで鋤を持ち土地を耕し始めた姿が住民に目撃されています。

「明治5年秋のこと、御親兵隊の演習が東京越中島で挙行された。……昼食の時、諸将は皆立派な弁当を開いたが、独り西郷都督は、従僕から一箇の握飯を受け、その包紙を除かうとして誤って之を取落された。裸の握飯は地上に転がって砂がついたが、それを取り上げて、その砂をふうふう口で吹き払い、平然として之を食べられた。その有様を見たそばの兵士たちは、みな目を丸くして、都督の行為に感心した。」(『大西郷の逸話』西田 実 南方新社 2005)錦江湾入水や沖永良部島遠島で死に直面し、九死に一生を得た西郷 隆盛らしい逸話です。新渡戸 稲造博士が内村 鑑三と札幌農学校第2期生として入学した1877(明治10)年9月、城山で西南戦争が終結しました。内村 鑑三著『代表的日本人』の冒頭は西郷 隆盛、新渡戸博士も『南洲翁遺訓』の言葉を金言として採り上げています。

新渡戸記念中野総合病院副院長 山根 道雄



今日も昨日も一昨日も、^{ひも} 饑しい憂日を見ず、その日くの食を得た。世には、一椀の汁一杯の飯さへ得で、親子諸共餓死する者もあるに、此身は何と幸福のことよ。之れも農民が炎天泥中に働いて呉れる故である。粒々皆辛苦。我が家に余る食物も、中々粗^そ麩には出来ぬ。

『一日一言』七月二十八日

新渡戸 稲造